

労務費 第1問 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現 金	当 座 預 金	賃 金 ・ 給 料	仕 掛 品
製造間接費	預 り 金	賃 率 差 異	

1. 直接工が製品製造にあたり 1,000 円/時間×100 時間、また補助作業のために 800 円/時間×30 時間働いた。直接工による労務費の消費高を計上する。
2. 今月分の賃金 124,000 円を現金で支払った。
3. 当工場では、直接工の消費賃金の計算には 1 時間あたり 1,500 円の予定賃率を用いている。当月の直接工の実際直接作業時間数は 360 時間、間接作業時間数は 40 時間であった。直接工による労務費の消費高を計上する。
4. 当月の直接工への賃金は預り金 80,000 円を差引き 500,000 円で、小切手を振り出して支給した。
5. 上記 3 の予定賃率にもとづく消費賃金と実際消費賃金との差額を賃率差異勘定に振り替える。なお、直接工については、当月賃金支払高は上記 4 のとおりであり、前月賃金未払高は 100,000 円、当月賃金未払高は 110,000 円であった。

	仕		訳	
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				
4				
5				

労務費 第1問 模範解答

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	仕掛品 製造間接費	100,000 24,000	賃金・給料	124,000
2	賃金・給料	124,000	現金	124,000
3	仕掛品 製造間接費	540,000 60,000	賃金・給料	600,000
4	賃金・給料	580,000	預り金 当座預金	80,000 500,000
5	賃金・給料	10,000	賃率差異	10,000

【解説】

賃金の支払は「(借) 賃金・給料」となり、賃金の消費は「(貸) 賃金・給料」と仕訳する。

1. 直接労務費 ; @1,000円×100時間=100,000円
間接労務費 ; @ 800円× 30時間= 24,000円
3. 直接労務費 ; @1,500円×360時間=540,000円
間接労務費 ; @1,500円× 40時間= 60,000円
4. 賃金・給料の支払額は、預り金80,000円+小切手振出分500,000円=580,000円となる。
5. 賃金・給料勘定を作成して賃率差異を求める。

